

株式ロングショート 戦略レポート

マーケットニュートラル戦略編

提供：株式会社サヤトレ

目次

目次	1
1 サヤトレ LS とは.....	2
2 ロングショート戦略の説明.....	4
3 日経平均と TOPIX のサヤ取り（2 銘柄のロングショート） ...	7
4 3 銘柄以上のロングショート	11
5 ポートフォリオ検索機能	15
6 「アウトパフォーム」「アンダーパフォーム」	18
7 マーケットニュートラル戦略とは	20
8 マーケットニュートラル戦略の銘柄数	23
9 個別銘柄の選定方法	25
10 マーケットニュートラル戦略の実例	28
11 最後に	32

1 サヤトレ LS とは

サヤトレ LS は、個別株式・株価指数・FX・商品先物などの金融商品を
買いと売りを同時に両建て保有するロングショート戦略に特化したサイトです。

ロングショートしているポートフォリオ内の損益合計をチャート化して表示する事でロングショートの組み合わせ結果をシミュレーションする事が出来ます。

ロングショートのシミュレーション分析は、会員登録なしで使える無料版とより高機能なシミュレーション分析が出来る有料版がございます。

■サヤトレ LS 損益合成シミュレーション

<https://sayatrade.com/feature/simulation.php>

サヤトレ LS は、インターネット上でご利用いただく投資分析システムです。

日々刻々と変化する膨大な金融データを 1 時間毎に取得して
クラウド上（インターネットサーバー内）で計算処理を行っております。

ご自宅のパソコン、会社のパソコン、スマートフォン（iPhone・Android）、タブレット端末（iPad）などデバイスを選ぶ事無くご利用いただけます。

急な相場変動にも安心して投資が出来るロングショート戦略の分析にサヤトレ LS をお役立てください。

■ サヤトレ LS 損益合成シミュレーション機能

2016年4月26日 損益合成チャートのテクニカル分析にRSIを追加しました。

サヤトレLS運営さん ⑦ よくあるご質問 ⑧ お問い合わせ ⑨ ログアウト

ロングショート分析システム
サヤトレ LONG SHORT

特典

FXロングショートレポート(PDF)
ダウンロードはこちらから



損益合成シミュレーション



ポートフォリオ検索



騰落率比較チャート

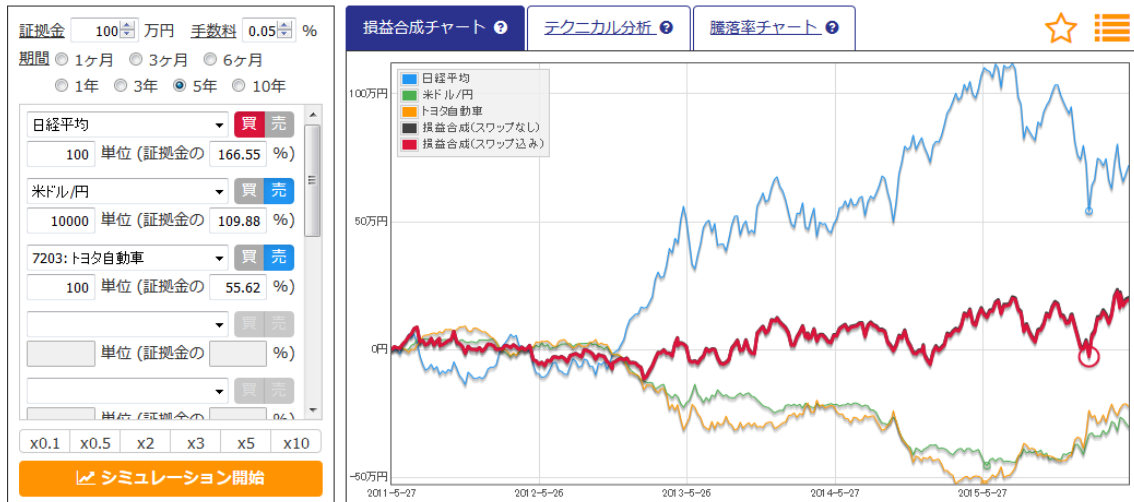


相関係数一覧表



政策金利一覧表

☑ 損益合成シミュレーション 複数の銘柄を組み合わせた損益合成チャートを作成し、損益結果をシミュレーション分析できます。詳しい使い方は[こちら](#)。



損益合成シミュレーション結果

2016年5月23日 14時 データ更新

証拠金	1,000,000 円		投資金額	3,320,500 円		レバレッジ	3.32 倍
手数料	1,660 円						
		標準偏差 シャープレシオ	最大 ドローダウン	スワップ 合計金額	損益合計 (スワップなし)	損益合計 (スワップ込み)	
シミュレート 期間		59.93 % 0.32	-227,964 円 -22.80 %	-8,839 円 -0.88 %	198,046 円 19.80 %	189,207 円 18.92 %	
直近一年		29.07 % 0.09	-240,607 円 -24.06 %	-3,151 円 -0.32 %	29,060 円 2.91 %	25,909 円 2.59 %	
投資銘柄	投資単位	投資金額 保有比率	最大 ドローダウン	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)	
日経平均	買 100	1,665,500 円 50.16 %	-577,200 円 -57.72 %	0 円	712,473 円	712,473 円	
米ドル/円	売 10,000	1,098,800 円 33.09 %	-503,335 円 -50.33 %	-8,839 円	-291,449 円	-300,288 円	
トヨタ自動車	売 100	556,200 円 16.75 %	-619,100 円 -61.91 %	0 円	-222,978 円	-222,978 円	

投資に役立つ情報をお届け！

特典 ロングショートレポート

お名前

メールアドレス

メールマガジンに登録する

東岳証券

FX MT4
順張り ea (無料)

証券会社が開発した
自動売買プログラム
シミュレーション結果掲載。

詳しくはこちら>>

ロングショート戦略とは？

詳細はこちら▶

無料版は、損益合成シミュレーション期間が 1 年のみ

シミュレーション投資対象が 3 銘柄のように機能に制限がかかっております。

2 ロングショート戦略の説明

まずは、ロングショート戦略の基本について解説させていただきます。

ロングショート戦略とは、将来上昇が期待される銘柄を買い（ロング）下落が期待される銘柄を売る（ショート）両建て投資戦略です。

金融業界では「買い」をロング・「売り」をショートと呼びます。

■投資対象を「買う」＝「ロング」

■投資対象を「売る」＝「ショート」

ロングショート戦略は、相場が上昇・下落どちらに動いても市場の変動に左右されない安定した運用が可能なヘッジファンドの代表的な運用手法です。

一般的には、割安な銘柄を買い（ロング）・割高な銘柄を売る（ショート）構成を基本としますがロングショート戦略は、様々な応用が可能です。

基本構成とは反対に上昇トレンドの銘柄を買い（ロング）下落トレンドの銘柄を売る（ショート）事で利益を狙う事も可能です。

何を買って・何を売るかの選定条件がロングショート戦略では重要です。

買い（ロング）と売り（ショート）を同時に保有する事を総称して「両建て売買」その他に「サヤ取り」「アービトラージ」などと呼ばれるケースもあります。

通常、投資は安く買って高く売る値上がりした分が利益になる

「投資＝買い」のイメージが一般的に強いと思います。

しかし買い保有だけの投資の場合、どれだけ魅力的な銘柄に投資していたとしても金融市場全体が下落相場の際には、魅力的な銘柄も一緒に値下がりして損失となってしまいます。

日本の個人投資家には、あまり知られていませんが
投資の世界では値下がりを持予想して利益を狙う事も可能です。

■ 買い（ロング）＝ 値上がりした分が利益・値下がりした分が損失

■ 売り（ショート）＝ 値上がりした分が損失・値下がりした分が利益

上がれば儲かるロングと下がれば儲かるショートと同時に保有する事によって、日々上下変動する金融市場の波を抑えながら安定して利益を狙うのがロングショート戦略の仕組みです。

■ 株価が上がると予想する銘柄を買い（ロング）

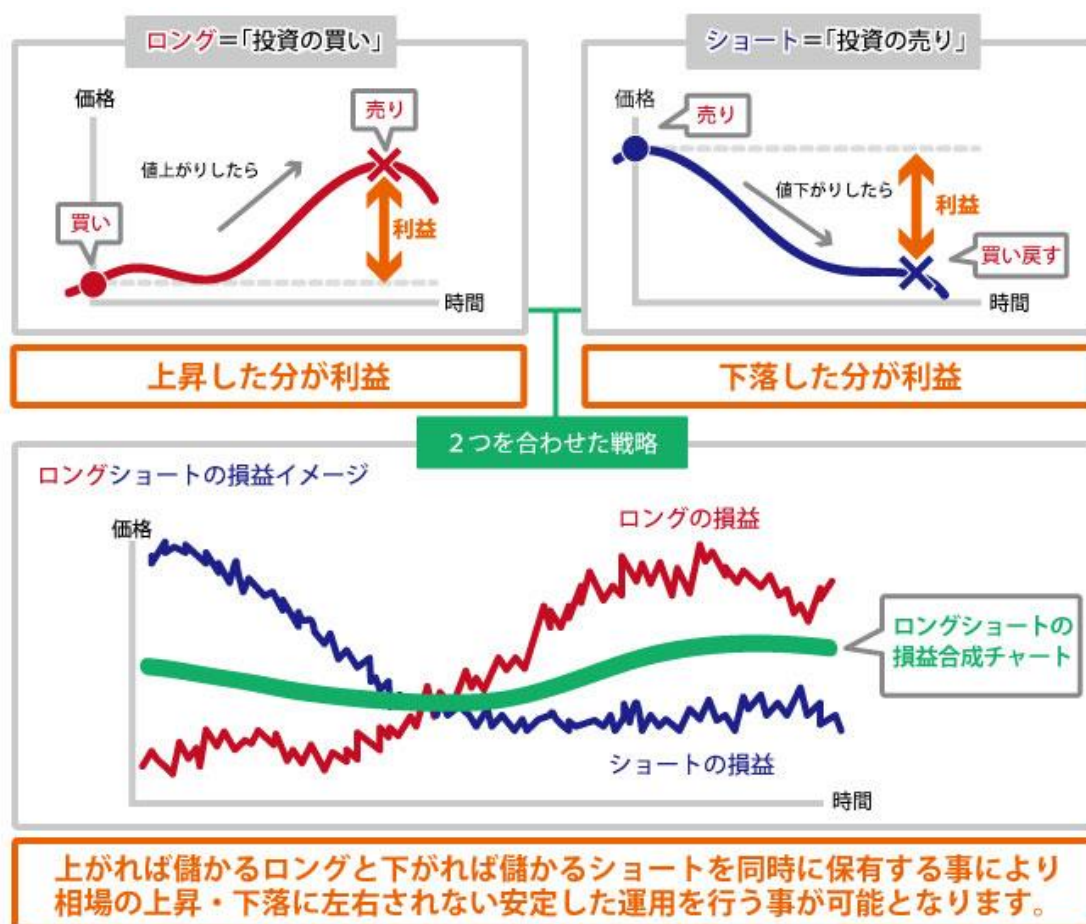
■ 株価が下落すると予想する銘柄を空売り（ショート）

ロングショート戦略は、上記のように「買い」と「売り」を同時に組み合わせて金融市場の相場変動を軽減しながら投資収益を目指します。

ロングショート戦略は、個人投資家には馴染みのないニッチな投資戦略ですが海外のプロ投資家の多くが基本戦略として使う伝統的な投資戦略です。

両建て売買の理論は、投資の世界において非常に効果が高くその理論を個人投資家が理解すると投資戦略の幅も大きく広がることでしょう。

■ロングショート戦略のイメージ図



3 日経平均と TOPIX のサヤ取り（2 銘柄のロングショート）

それではサヤトレ LS を使ってロングショート戦略について解説します。

一番分かりやすい例は、日本を代表する株価指数である
「日経平均」と「TOPIX」の 2 銘柄のロングショートです。

今回の例は「ロングショート」よりも一般的には「サヤ取り」と呼ばれるケース
の方が多いです。

サヤ取りもロングショートも同じ「買い」と「売り」の両建て戦略です。

株式投資を行っている方はご存知かと思いますが「日経平均」と「TOPIX」の
日々の株価の値動きは、基本同じように価格が連動して推移しています。

■過去 1 年間の「日経平均」と「TOPIX」の値動き比較チャート



- 日経平均が上昇している日は、TOPIX も同じように上昇
- 日経平均が下落している日は、TOPIX も同じように下落

2つの株価指数の日々の値動きは、ほぼ連動しているのです。

しかし2つの指数が連動していると言っても100%同じではありません。

値動きの比較チャートをよく見ると・・・

ところどころ2銘柄の推移に開きがある事が分かります。

この開き具合の事を「サヤ」と言います。

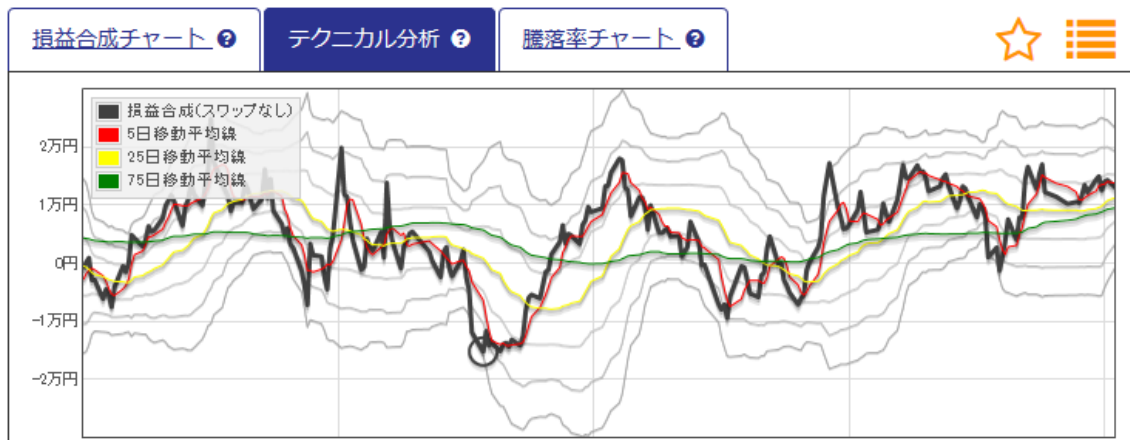
このサヤが開いたタイミングで2つの株式指数を買いと売りの
両建て保有して利益を狙うのがサヤ取り投資の仕組みです。

世界には、多くのサヤ取り投資を行っている投資家があり2銘柄のサヤが一定
以上開いた場合にはサヤが元に戻るよう仕掛けを行なうサヤ取り投資家（ア
ービトラージャー）が存在しています。

そして上記の比較チャートでは「日経平均」と「TOPIX」の値動きの連動性は分
かりますが2つ指数の価格のサヤの開き具合が分かりにくいと思います。

この2つのサヤの開き具合を数値にしてチャート化したのが次のチャートです。

■「日経平均」と「TOPIX」の損益合成チャート（サヤチャート）



上記のチャートは、「日経平均」と「TOPIX」をそれぞれ同じ投資金額に合わせて「日経平均：買い」と「TOPIX：売り」を行なった際の損益合成チャートです。

2 銘柄の売り買い比較を同じ投資金額に合わせた場合
損益合成チャートは、2 銘柄のサヤチャートとなります。

上記の損益合成チャート（サヤチャート）を見ると分かりやすいですが「日経平均」と「TOPIX」のサヤは一定のレンジ内で行ったり来たりの往來を繰り返している事が分かります。

日経平均と TOPIX のサヤが一定以上かい離すると
そのかい離を修正するかのようにな元のサヤに戻る傾向があるのです。

■ 日経平均が割安・TOPIX が割高の場合 = 日経平均買い・TOPIX 売り

■ 日経平均が割高・TOPIX が割安の場合 = 日経平均売り・TOPIX 買い

上記のように買いと売りの両建て保有する事で日々の相場の変動をヘッジしながら2銘柄のサヤの修正にて利益を狙うのがサヤ取り投資です。

これは「日経平均」と「TOPIX」のような株価指数だけに限らず上場している個別銘柄同士でもサヤ取りを実践する事が可能です。

サヤトレLSは、2銘柄以上の複合的なロングショート戦略が可能です。弊社では2銘柄のサヤを取る事に特化したサイトも運営しております。

■ サヤ取り投資ペア検索ツール『サヤトレ』

⇒ <https://investars.jp/>

■ 日経平均とTOPIXのサヤチャート

⇒ <https://investars.jp/multichart.php?q=1101:1102&term=1>

【サヤトレとサヤトレLSの違い】

「サヤトレ」：2銘柄特化型のサヤ取り投資ツール

「サヤトレLS」：3銘柄以上の複合的なロングショート戦略ツール

2つの違いについて分かりにくい点もございますがユーザーの投資戦略に合った両建て保有のサイトをご利用いただければ幸いです。

4 3 銘柄以上のロングショート

「日経平均」と「TOPIX」の2銘柄の買いと売りについて説明しましたがサヤトレLSでは2銘柄以上の組み合わせ（最大10銘柄まで）の損益合成チャートを表示する事が可能です。

例えば次のような組み合わせで5年間継続して投資を行った場合どのような損益結果になるのでしょうか？

【投資対象】

- 日経平均 100 株 買い
- 米ドル／円 1000 通貨 売り
- トヨタ自動車 100 株 売り

【投資対象の保有比率】

- 日経平均 買い 約 50%
- 米ドル／円 売り 約 33%
- トヨタ自動車 売り 約 17%

証拠金 万円 手数料 %

期間 ☐ 1ヶ月 ☐ 3ヶ月 ☐ 6ヶ月
☐ 1年 ☐ 3年 ☒ 5年 ☐ 10年

日経平均

単位 (証拠金の %)

米ドル/円

単位 (証拠金の %)

7203:トヨタ自動車

単位 (証拠金の %)

単位 (証拠金の %)

単位 (証拠金の %)

x0.1 x0.5 x2 x3 x5 x10

シミュレーション開始

■ 3 銘柄ロングショート の損益合成チャート(個別株を含む)



■ 3 銘柄ロングショート の損益合成チャート (損益合成のみ)



この3銘柄の例は、「日経平均」を保有比率50%で買い
ヘッジ目的として「米ドル/円」と「トヨタ」をヘッジ目的に売っています。

個別株と損益合成チャート全体を表示した上部のチャートを確認すると
ショートしている「米ドル/円」と「トヨタ」は損失になっていますが
ロングの日経平均が利益になっている事が分かると思います。

ショートの損失とロングの利益を合計した損益結果が赤の太線チャートです。
(赤色のチャートの下にスワップを含まない黒いチャートもあります)

そして損益合成チャートのみを表示したのが下の損益合成チャートです。

5年間保有し続けた場合のスワップを含まない損益合成チャートのみを表示し
ており「移動平均線」「ボリンジャーバンド」「MACD」「RSI」などのテクニカ
ル分析が可能になっています。

過去の損益合成シミュレーションが大きくマイナスになっている組み合わせを
逆張りの発想で仕掛けるよりも過去安定して利益を伸ばしているロングショ
ートの組み合わせに順張りの発想で投資することを運営としてはお勧めして
おります。

ロングショート戦略では、投資する銘柄・売り買い・数量を調整する事で組み
合わせの数は無限に存在します。

どのような組み合わせが最適かについては投資家の考え方で異なりますが多くの個人投資家が投資において「必ず儲かる条件」を求めがちです。

しかし投資の世界にそんな美味しい条件は存在しません。

投資したら誰でも必ず 100%儲かる組み合わせや売買ルールを発見する事が出来ればノーベル経済学賞を受賞出来ることでしょう。

金融市場は生き物でありルールや法制度も変化して常に進化を続けています。

一番大切な事は、ご自身の運用方針に合った投資戦略で金融市場から退場する事なく継続して運用を続ける事です。

サヤトレ LS は、あくまでも計算機でありツールです。

しかし投資は、過去の値動きと同じように動く確率が高い傾向があります。

過去の相場の値動きを分析する事によって少しだけ未来を占う事が可能です。

次の章以降、サヤトレ LS の機能の活用方法を解説させていただきます。

運用の考え方のヒントや使い方の参考にいただければ幸いです。

5 ポートフォリオ検索機能

前章にて 3 銘柄のロングショート戦略について解説を行いました。

しかし個人投資家の方が無限に存在するロングショートの組み合わせの中から自身の運用方針に従い選定する事は中々難しい事だと思います。

そんな悩みを解決するための機能がサヤトレ L S のポートフォリオ検索です。

■ ポートフォリオ検索機能

⇒ <https://sayatrade.com/feature/portfolio.php>

ポートフォリオとは日本語で資産構成という意味です。

投資において多くの場合 1 銘柄に絞って投資する事はほとんどありません。

複数の金融商品に投資した際の資産全体をポートフォリオと呼びます。

サヤトレ L S のポートフォリオ検索では、買い売り含めて指定条件にマッチしたロングショートの組み合わせを自動的に表示してくれる機能です。

過去の投資結果データを活用することによって無限に存在するロングショートの組み合わせの参考例となります。

■ポートフォリオ検索画面

▼ **ポートフォリオ検索** 損益やシャープレシオなどを指定して、最適なポートフォリオを検索できます。詳しい使い方は[こちら](#)。

証拠金 万円 レバレッジ 倍 期間

1

スワップ 証拠金の % 以上 損益 証拠金の % 以上 最大ドローダウン 証拠金の % 以内

標準偏差 % 以内 シャープレシオ 以上 表示順

検索対象銘柄 円建て通貨 ☒ **2** 外貨建て通貨 ☒ **1** 株価指数 ☒ **6** 商品先物 業種別ETF ☒ **17**

☐ 全てチェックする / 全てチェックを外す
☒ 米ドル/円 ☒ ユーロ/円 ☐ ボンド/円 ☐ 豪ドル/円 ☐ NZドル/円
☐ 加ドル/円 ☐ ランド/円 ☐ フラン/円 ☐ 香港ドル/円 ☐ 中国元/円
☐ トルコリラ/円 ☐ Nクローネ/円 ☐ スクローナ/円 ☐ Mペソ/円

2

「高金利通貨保通型」で検索する
「株価指数ヘッジ型」で検索する
上記条件で検索する

3

ポートフォリオ			標準偏差 シャープレシオ	最大ドローダウン	スワップ	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)	
米ドル/円 買 3046	ユーロ/米ドル 売 2721	食品 買 11.03	📈	16.64 % 2.22	-106,798 円 -10.68 %	-168 円 -0.02 %	370,412 円 37.04 %	370,245 円 37.02 %
ユーロ/米ドル 売 4081	米ドル/円 買 4567		📈	12.70 % 2.13	-135,835 円 -13.58 %	-252 円 -0.03 %	270,457 円 27.05 %	270,205 円 27.02 %
ユーロ/米ドル 売 4083	食品 買 16.55		📈	19.96 % 2.11	-99,145 円 -9.91 %	-4,291 円 -0.43 %	424,652 円 42.47 %	420,361 円 42.04 %
ユーロ/米ドル 売 2721	医薬品 買 16.33	米ドル/円 買 3045	📈	17.19 % 2.01	-116,505 円 -11.65 %	-168 円 -0.02 %	345,312 円 34.53 %	345,144 円 34.51 %
小売 買 19.35	ユーロ/米ドル 売 2721		📈	18.25 % 1.93	-154,921 円 -15.49 %	-168 円 -0.02 %	353,134 円 35.31 %	352,966 円 35.30 %
ユーロ/米ドル 売 2722	医薬品 買 11.03	医薬品 買 16.34	📈	23.19 % 1.92	-128,025 円 -12.80 %	-2,861 円 -0.29 %	448,134 円 44.81 %	445,273 円 44.53 %
ユーロ/米ドル 売 2734	ナスダック 買 0.63	食品 買 11.08	📈	21.94 % 1.91	-129,848 円 -12.98 %	-2,873 円 -0.29 %	421,165 円 42.12 %	418,291 円 41.83 %
食品 買 11.03	小売 買 19.36	ユーロ/米ドル 売 2722	📈	23.81 % 1.90	-159,924 円 -15.99 %	-2,861 円 -0.29 %	455,961 円 45.60 %	453,100 円 45.31 %
食品 買 11.03	ユーロ/米ドル 売 2722	SP500 買 1.48	📈	21.01 % 1.89	-107,735 円 -10.77 %	-2,861 円 -0.29 %	400,031 円 40.00 %	397,170 円 39.72 %
米ドル/円 買 3045	ユーロ/米ドル 売 2721	運輸物流 買 20.52	📈	18.26 % 1.86	-137,302 円 -13.73 %	-168 円 -0.02 %	339,778 円 33.98 %	339,610 円 33.96 %

1
2
3
4
5
...
90
>

【ポートフォリオ検索の基本的な使い方】

1. 検索したい投資結果の検索条件の数値を設定する
2. 検索対象に含める銘柄を選択する
3. 「上記条件で検索する」ボタンをクリック
4. ポートフォリオ検索結果に一覧が表示されます。
5. 一覧の中からチャート表示ボタンをクリック
6. 損益合成チャートを確認 して分析

ポートフォリオ検索機能は、ユーザーが数値を変更する事で自由にカスタマイズ出来ますが運営があらかじめ用意した条件で検索する事も可能です。

「高金利通貨保有型」「株価指数ヘッジ型」のように運営側にてあらかじめポートフォリオ検索条件の数値を設定した検索ボタンも用意しております。

設定されたボタンを押した後に細かい数値を修正して「上記条件で検索する」をクリックする事でより好みの条件で検索も可能です。

ポートフォリオ検索機能は「投資銘柄」×「売り買い」×「数量」など組み合わせは膨大に存在するためシステム内部で日々計算を行なっております。

ご利用の時間帯やアクセス数によっては表示が遅くなってしまう可能性がありますが今後も改良を続けてポートフォリオ検索機能を強化してまいります。

検索できる項目や銘柄数も増やして投資家が投資する際の参考になる最適な組み合わせが表示されるシステムにバージョンアップしてまいります。

■ ポートフォリオ検索機能

⇒ <https://sayatrade.com/feature/portfolio.php>

6 「アウトパフォーム」「アンダーパフォーム」

マーケットニュートラル戦略を理解する前に、個人投資家の多くが知らない株式投資における重要な考え方をお伝えします。

その考え方とは、インデックス指数と投資対象との騰落比較
「アウトパフォーム」「アンダーパフォーム」という考え方です。

例えば、個人投資家仲間のお友達に次のようなことを言われたとしましょう。

「これから先、トヨタ株が上がる」

1 カ月後、実際にトヨタ株が 10 % 上昇した場合
そのお友達はきっと次のように言うことでしょう。

「それ見ろ！ トヨタ株に投資して正解だった！」

現実でもよくある光景ではないでしょうか？

しかし 10% の上昇でトヨタ株への投資が正解だと判断してはいけません。

なぜならば、トヨタ株が 10 % 上昇した事実は確かですが
その他の株はどのように推移したのか比較する必要があるからです。

株式相場全体の動きをまとめた日経平均株価と比較するのが一般的です。

トヨタ株が10%上昇した同じ1カ月の期間で日経平均株価との騰落を比較し、仮に日経平均株価は20%上昇していたとしましょう。

トヨタ株を買って10%の利益で儲かったのは事実です。

しかし、日経平均株価の上昇率が20%ですのでトヨタ株以外の銘柄のほとんどは、もっと大きく上昇していたことを意味しています。

全体の平均上昇率が20%の中でトヨタ株は10%しか上昇していない場合、トヨタ株に投資したことは、本当に正しかったと言えるでしょうか？

このように個別株（+10%）に対して日経平均株価（+20%）と比較した際に騰落率（パフォーマンス）が下回る事をアンダーパフォームと呼びます。

反対にトヨタ株が日経平均株価の上昇率20%を上回る30%の上昇率であった場合はアウトパフォームと呼びます。

株価上昇を例に解説しましたが、株価が下落しているケースでも同じです。

株式市場全体の上下とは関係なく、比較する2つの対象の価格推移において騰落率のパフォーマンスが上回ったか下回ったかで判断するのが「アウトパフォーム」「アンダーパフォーム」という考え方です。

7 マーケットニュートラル戦略とは

「アウトパフォーム」と「アンダーパフォーム」について理解出来れば
マーケットニュートラル戦略もイメージがしやすいです。

投資の世界では相場の上下を読む事は分からずとも日経平均のパフォーマンス
を上回る銘柄（もしくは下回る銘柄）を探すことが出来るのであれば利益を狙う
事が可能です。

これまでに時間をかけて厳選して個別銘柄を選んで投資したにも関わらず
一度も利益になる事なく大きく損した経験はありませんか？

しかし上記のようなケースにおいて銘柄の選定が間違っていたかどうかを投資
結果だけでは判断する事はできません。

なぜならば個別銘柄の投資結果は、個別銘柄の良し悪しではなく
そのほとんどは相場全体の上下であり、仕掛けるタイミングにあるからです。

例えばバブルのように株価が大きく上がっているタイミングで投資を行えば、
銘柄に良し悪しに関係なく、何の銘柄を買っても利益になります。

反対にリーマンショックのような金融危機ではどんなに素晴らしい優良企業の
株を買っていても下落して大きな損失になってしまいます。

株式投資では、個別銘柄の良し悪しよりも相場全体の上下変動が重要です。

言い換えると相場が上がっている時であれば・・・

素人が目をつぶって適当な銘柄を買っても儲かります。

反対に相場が下がっている時は、投資のプロが時間をかけて選定した
超優良企業の銘柄でも下落して損してしまうのが株式投資の現実なのです。

そのような損益結果のほとんどを占める相場全体の上下の変動要因を
個別銘柄から差し引いて運用を行なう投資がマーケットニュートラル戦略です。

実際に例にすると次のようなイメージとなります。

【マーケットニュートラル戦略のイメージ】

【**売り**】 日経平均 保有比率 50%

【**買い**】 個別銘柄 A 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 B 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 C 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 D 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 E 保有比率 10%

相場全体の値動きとなるインデックス指数を売り
投資家が選定した個別銘柄に分散して仕掛けを行なっています。

上記のように日経平均やT O P I Xのようなインデックス指数を売り
個別株の値動きから β （ベータ）と呼ばれる株式市場全体の値動きを除外します。

個別銘柄の値動きから β （ベータ）を除外した部分を α （アルファ）と呼び
マーケットニュートラルは α （アルファ）を積み上げて利益を狙う投資戦略です。

■ 個別銘柄の値動き $-\beta$ （ベータ） $=\alpha$ （アルファ）

マーケットニュートラルで運用を行なっている際にリーマンショックのように
金融市場が暴落して 50%も大きく下落したとしましょう。

買い保有の 5 銘柄は、損失となり 50%程度大きく下落している事でしょう。

しかし空売りしている日経平均は 50%程度の大きな利益になっております。

損失と利益が相殺してヘッジされ安定した投資結果となります。

つまり個別銘柄を買い、インデックス指数を売る事によって個別銘柄の変動から
暴落という全体の上下変動を差し引いたイメージの投資結果になるのです。

そして暴落していたとしても選定した個別株の 5 銘柄の騰落率（パフォーマンス）
が日経平均の騰落率を上回って（アウトパフォーム）いれば利益になります。

日経平均やT O P I X（インデックス指数）を上回る銘柄を探すことが出来れば
暴落に関係なく安定して利益を狙える運用が出来るのです。

8 マーケットニュートラル戦略の銘柄数

マーケットニュートラル戦略で空売りを行なうインデックス指数は日経平均かT O P I Xのいずれかを先物取引で売る、もしくは指数連動型のE T Fを1銘柄を空売りすればO Kです。

一方の個別銘柄の数については、個人投資家によって銘柄数が異なります。

投資銘柄数が少ないと選定した銘柄の当たり外れによって結果にブレが出ます。

反対に銘柄数が多くなりすぎると日経平均の連動とほとんど同じような値動きとなり変動が小さ過ぎて利益を獲得する事ができません。

個人投資家の場合は運用資金に制限があると思うのでそれほど多く分散投資する事は難しいと思いますがマーケットニュートラル戦略を行なう場合は、個別銘柄は**3銘柄～10銘柄程度**に収めるのが良いでしょう。

その際に3銘柄に投資する際には、3銘柄の投資金額の合計が売りの日経平均と同じ投資金額になるように調整してください。

【投資金額調整のイメージ】

日経平均先物 1 枚 = 投資金額 1648 万円

3 銘柄の場合 = 1 銘柄の投資金額 549 万円 (1648 万円 ÷ 3 銘柄)

4 銘柄の場合 = 1 銘柄の投資金額 412 万円 (1648 万円 ÷ 4 銘柄)

5 銘柄の場合 = 1 銘柄の投資金額 329 万円 (1648 万円 ÷ 5 銘柄)

1 銘柄の投資金額を調整する際に通常の証券口座では
単元株の問題で上手く調整出来ないケースも多くあります。

その場合は、I G証券のC F Dやミニ株などの活用で
1 株単位から投資で投資金額を調整することも可能です。

しかし 1 株単位で投資出来るメリットがある一方で
取引にかかるコストも通常の証券口座よりも割高になってしまいます。

出来るだけ通常のネット証券口座で保有する事を前提にして投資金額が大きくなる銘柄のみC F Dやミニ株を活用するなど工夫するようにしてください。

■ IG 証券⇒ <http://investars.jp/about/igmarkets.html>

そして通常のネット証券でも信用取引のレバレッジを活用することで
実際の運用資金よりも多くの資金で投資する事が可能です。

マーケットニュートラル戦略は売り買いを行なうためレバレッジ 2 倍で取引を行なっても、片張り投資をしている時よりもリスクは低減されます。

片張り取引のレバレッジは、相場が大きく変動した際に想定以上の損失になるケースがありますが、両建て売買は、レバレッジ 2 倍〜で運用を行なわないと投資結果が安定し過ぎて損益がほとんど発生しないケースもございます。

9 個別銘柄の選定方法

それではマーケットニュートラル戦略を実践するにあたり日経平均を上回るアウトパフォーム銘柄を探すための参考事例をお伝えさせていただきます。

■投資家の裁量判断で選定する

一般的な多くの個人投資家の銘柄選定は、裁量判断です。

日々仕入れている日経新聞やニュースなどの投資情報や過去の経験から自ら個別銘柄を選定して投資している方が多いです。

しかし投資結果については、先述したとおり株式市場全体の上下変動によって投資結果は、大きく左右されてしまいます。

個人投資家が裁量判断で選定した銘柄が相場全体の下落で損になっけていても実は、素晴らしい優良な銘柄であるケースも考えられるのです。

ご自身が勤める業界や業種、今後注目されるテーマに関する情報また趣味や興味のある分野などの情報は、早く耳に入る事でしょう。

それらの情報は、株価や決算に織り込まれておらず過去のデータを元にして行なうシステムチックな選定では見つける事が出来ないケースも多くあります。

株価が上昇する銘柄を自ら選定する裁量判断での銘柄選びは投資の力を身につける目的も込めて1銘柄は、ぜひとも実践していただければと思います。

■スクリーニングツールによるシステムで選定する

裁量とは反対に証券会社が提供しているスクリーニングツールを使い
決算やテクニカル分析などの条件を設定して該当する銘柄を選定する方法です。

スクリーニングツールとは、株価や決算情報など条件を設定すると
その条件に該当する銘柄で表示されるシステムの事を言います。

例えば 4000 社ある上場企業の中から

「黒字の会社」 & 「売り上げが伸びている会社」 & 「株価が割安」・・・

上記のように複数の条件を設定して個別銘柄を検索する事が可能です。

スクリーニングツールに関しては、大手ネット証券で
口座をお持ちであれば基本的に無料で利用する事が可能です。

有料・無料のスクリーニングツールがございますが最近では
無料スクリーニングツールでもかなり充実した検索が可能になっています。

無料で使えるスクリーニングツールとしてお勧めは
楽天証券が提供している「スーパースクリーナー」です。

■スーパースクリーナーの解説（動画を見ると分かりやすいです）

<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/learn/seminar/ondemand20150703.html>

楽天証券に口座を持っていると無料で利用出来ます。

■楽天証券の口座開設 <http://investars.jp/about/rakuten.html>

システムによって銘柄選定を行なう際に多くの方が
一番儲かる検索条件を教えてくださいという要望をいただきます。

しかし残念ですがスクリーニングツールの条件設定にて
こうしたら一番儲かる銘柄で出てくるという条件は存在しません。

現時点で最強の条件を発見したとしても相場は生き物ですので
翌月にはその条件は、効果が無くなってしまう事もよくあります。

そして条件の良し悪しは、投資家が保有する投資期間によっては異なります。

1 日～3 日程度の短期的な運用で上昇する銘柄の検索条件と 1 ヶ月程度の中期
1 年以上で長期保有する際の最適な検索条件は、それぞれ異なるからです。

スクリーニングツールは自動的に儲かる銘柄を探すツールではありません。

あくまでも条件に合致した銘柄を探すためのツールです。

ツールは道具ですので使う投資家の腕によって結果は変わります。

しかし膨大な数の銘柄の中から絞り込みが可能なスクリーニングを活用すること
で事で裁量では発見出来なかった銘柄の発見や銘柄選定にかかる時間の大きな
短縮につながります。

**またスクリーニングで表示された検索結果の中から
投資家ご自身の裁量判断で銘柄を複数選定するという方法もお勧めです。**

10 マーケットニュートラル戦略の実例

2016年4月15日～5月13日の1ヶ月間スクリーニングにて
好業績銘柄を5銘柄選定しマーケットニュートラル戦略を実践しました。

選定した好業績の5銘柄は次の通りです。

■好業績の銘柄（売上増・利益率高・ROE高）

- 【4452】 花王
- 【6952】 カシオ
- 【7270】 富士重工
- 【4543】 テルモ
- 【4704】 トレンドマイクロ

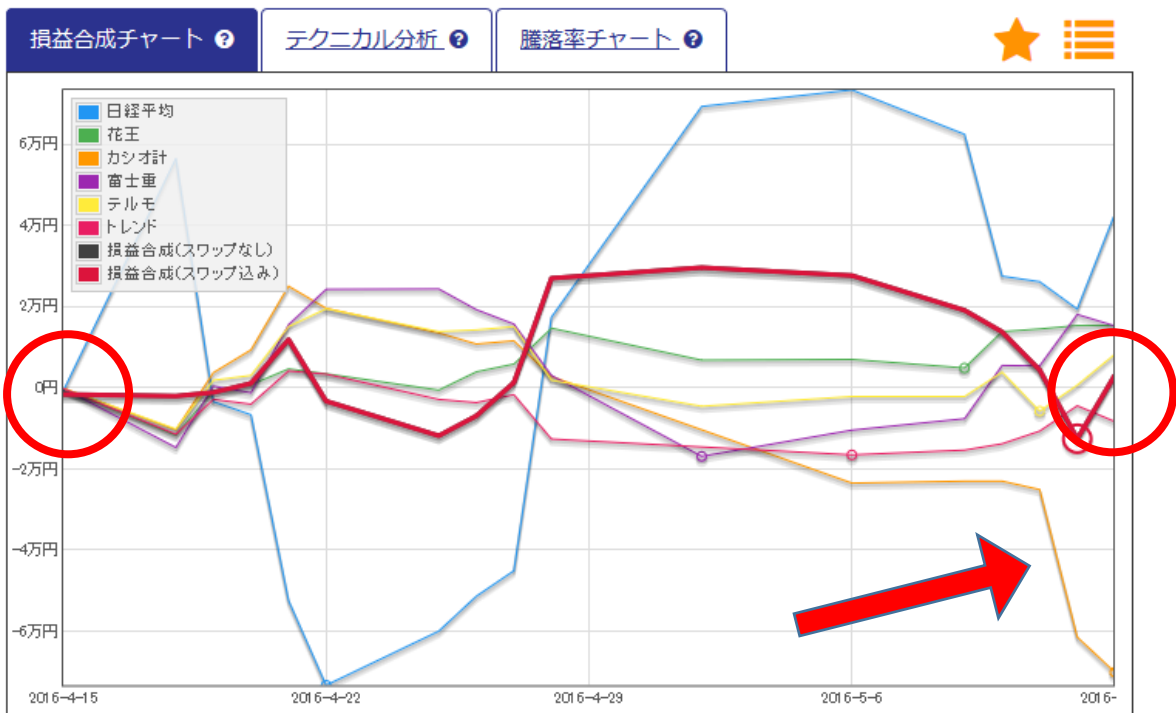
上記の5銘柄を買い（ロング）ヘッジとして
日経平均先物を売り（ショート）を仕掛けました。

実際に投資したのは下記のようなイメージです。

■マーケットニュートラル戦略の実例

- | | | |
|--|---------------|----------|
| 【 売り 】 | 日経平均（TOPIX） | 保有比率 50% |
| 【 買い 】 | 4452 花王 | 保有比率 10% |
| 【 買い 】 | 6952 カシオ | 保有比率 10% |
| 【 買い 】 | 7270 富士重工 | 保有比率 10% |
| 【 買い 】 | 4543 テルモ | 保有比率 10% |
| 【 買い 】 | 4704 トレンドマイクロ | 保有比率 10% |

■ 1 か月間保有した際の損益合成チャート



上記のチャートは、仕掛けからの損益結果を表しています。

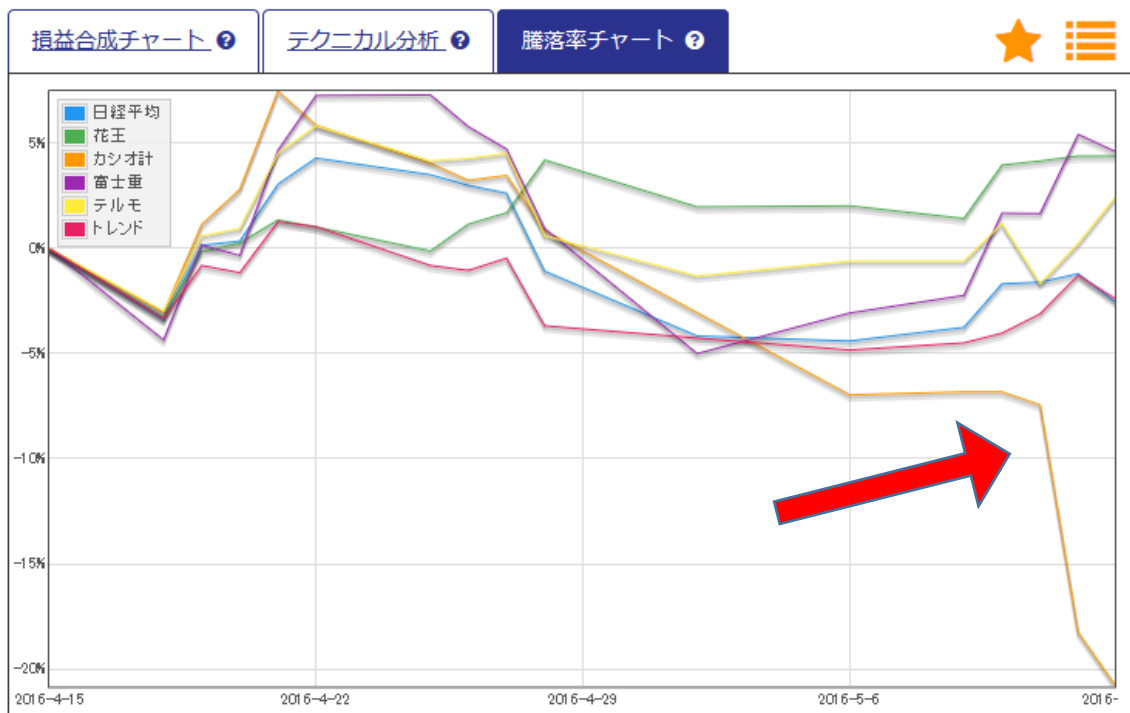
1 ヶ月間の投資結果としては、運用スタートから利益になっておりましたが最終的にはスタートの起点となる 0 円付近にある事が分かるかと思います。

0 円という事は、投資結果としては売買にかかるコストを含めると赤字です。

今回の実践例としては上記のオレンジのチャートを見ると分かりますが 5 月 12 日のカシオの決算発表にて 1 銘柄が大きく下落して足を引っ張っています。

カシオの決算発表そのものは、黒字で良い決算なのですが市場予想はもっと良いと想定されていたらしく大きく株価は下落してしまいました。

■ 株価の騰落率（パフォーマンス）比較



日経平均（水色のチャート）を含めたパフォーマンスを比較するとカシオ（オレンジのチャート）1銘柄のみが大きく日経平均を下回りアンダーパフォームとなっている事が分かります。

その他の4銘柄は、日経平均の騰落率よりもアウトパフォームしています。

引き続き運営ではサヤトレLSを使ったマーケットニュートラル戦略の検証と分析を行なっております。

今後の方針としては個別銘柄を5銘柄買い、インデックス指数を空売りします。

選定した5銘柄のパフォーマンスを1ヶ月サイクルで確認して成績の悪い銘柄と別の銘柄と交換していく運用を行う予定です。

そうする事によってパフォーマンスの良い銘柄は長期投資となり
日経平均と比較してパフォーマンスの悪い銘柄は決済していくイメージです。

運営による分析と検証につきましてはサヤトレLS会員限定に
「サヤトレLSレポート」をお送りさせていただきます。

サヤトレLSは、投資上級者向けのシステムで難しいという声をいただきます。

「サヤトレLSをどう使っているのか分からない？」

上記のような声を解決するために実例を用いながらサヤトレLSの
損益合成チャートの使い方や投資戦略の解説を行っております。

サヤトレLSレポートは、2016年の2月にスタートしたばかりですが今後、サ
ヤトレLS会員のご意見をレポートに取り入れつつ投資に役立つ情報をお届け
できればと考えております。

今後は、個別銘柄を選定するための方法としてスクリーニングツールを
用いた条件の設定方法などもお伝え出来ればと考えております。

サヤトレLSの会員様でロングショート戦略に関して何か分からない事があれ
ばお気軽に運営までご質問くださいませ。

サヤトレLSを使ったマーケットニュートラル戦略の解説は以上となります。

11 最後に

株式会社サヤトレは「金融」×「IT」を組み合わせ、
個人投資家に便利なサービスを提供している独立系の企業です。

私、増田は元証券会社出身で 2011 年に独立してWEBサービスの
運営以外にも自ら個人投資家としても自己売買も行っております。

投資暦としては 10 年になりますが投資は面白いように簡単に儲かる時もあれば、何が原因か理由も分からず全く上手くいかない時もあります。

現在も実践継続しながら投資を勉強中です。

運営者ながら投資が上手くいかない時の辛さや決めたルール通りに損切りが
出来ない感情など、お客様側としても個人投資家の気持ちはよく分かります。

個人投資家としての究極のニーズは・・・

「楽しんで簡単にノーリスクで短期的に大儲けしたい！」

私も個人投資家なので上記のように同じニーズを持っています。

しかしそのニーズを満たす事が出来るサービスは世の中に存在しません。

そんな美味しい話は、世の中に存在しないのです。

投資業界では「明日上がる株を教えます」「仕手集団に加入しませんか？」
「上場する未公開株購入出来ます」などのような詐欺が日々横行しております。

残念ながら金融リテラシーの欠如から大事な退職金や年金の運用を
そのような詐欺の投資情報サービスにお金を支払う方はとても多いのです。

私が投資で大切と考えている事は、**個人投資家が正しい金融の知識を身に付けて自ら考えて自分の運用方針にあった投資を継続して行なう事です。**

誰でも簡単に楽しくて儲かるサービスを提供する事は出来ません。

「金融」×「IT」を組み合わせたサービスで投資家の方達に・・・
「便利」「儲かった」「時間の節約になった」「損したけど勉強になった」など
喜んでもらえるサービスを提供したい思いで事業を営んでおります。

今後も個人投資家側の立場から役立つサービスを提供していきたい思いです。

サイト及びシステムの改善・改良・不具合、それ以外にもこんなシステムがあれば便利というアイデアがございましたらお気軽に運営までご連絡くださいませ。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■ サヤトレ運営へのお問い合わせ
<https://sayatrade.com/contact/>

【株式会社サヤトレ運営 WEB サービス】

■ サヤ取り投資ペア検索ツール 『サヤトレ』

<https://investars.jp/>

■ ロングショート戦略分析システム 『サヤトレLS』

<https://sayatrade.com/>

■ サヤ取り投資ペアランキングサイト 『サヤ取りランク』

<https://sayatori.net/>

■ 一緒にチャートで会話が出来る！ 『マーケットライブ』

<https://market-live.jp/>

■ サヤ取り投資と経済が分かるブログ

<http://sayatore.com/blog/>

デ ィ ス ク レ ー マ ー 及 び リ ス ク 事 項 説 明

投資判断の材料・情報提供を目的としたものであり投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の判断は自己責任にて行ってください。また、各種情報の内容については万全を期しておりますが、その内容・有益性を保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当方および本情報提供者は一切の責任を負いかねますので御了承ください。

株式会社サヤトレ

support@sayatrade.com